

# STRIVE FOR



瀬戸SOLAN学園初等中部  
2026年度第5学年 学年通信  
第9号 7月3日発行

先週の木曜日に第2クォーターが始まり、1週間が経ちました。校舎にも活気がもどり、子どもたちは元気に過ごしています。さて、各担任からの学級通信をお届けします。



始業式は、各教室にてオンラインで行いました。それぞれ集中して話を聞いていました。



それぞれの教室で元気に学ぶ姿が見られます。

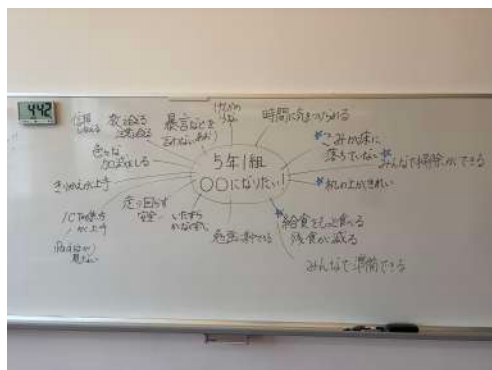
## 【1組通信】日本人担任 鈴木より

### 第2クォーターもよろしくお願いします！

初日、1時間目の始業式が終わった後の残り時間を使って、学級レクを行いました。日本語レクでは、「制限時間内にみんなで協力して絵を完成させるゲーム」に挑戦しました。「ドラえもん」などのお題を一人5秒以内で描きつなぎ、別の子がそれを当てられたらクリアです。英語レクでは、「一つのアルファベットから想像できる言葉を言い当てるゲーム」で遊びました。「tから始まるスポーツ」とお題が出され、誰よりも早く「tennis!」など言い当てられると一点もらえます。それぞれ、周りの友達と和やかに遊んでいる姿が見られました。

また、学活では係活動について話し合いました。「5年1組でこうなりたい!」という一人ひとりのクラスへの想いを共有しあった上で、どのような係活動があると良いか、アイデアを出していきました。話し合いの結果、2クォーターでは、「給食係」「そうじ係」「レク係」「図書係」「自然係」「整理・整とん係」「お笑い係」の7つの係ができました。（\*掃除や給食は、当番でも全員が取り組みます。）クラスをよりよいものにしていくことを目的に、それぞれの係でどのような取り組みが生まれてくるのか、今から楽しみです。具体的な取り組みは、また学級通信を通してお伝えしてまいります。

### <最近の5-1思い出ギャラリー>



学活の時間

「どんな1組にしたいか」



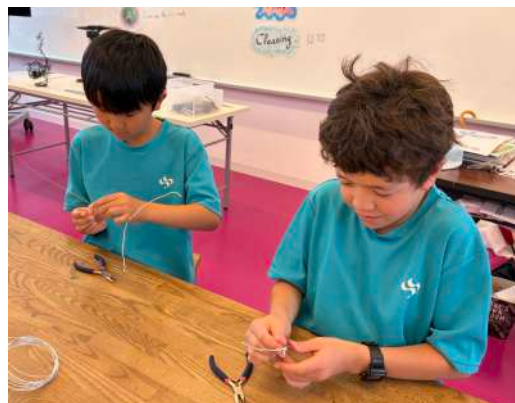
初日の日本語レクの様子



初日の英語レクの様子



理科：メダカの観察



図工：はりがねアート

## 【2組通信】日本人担任 樋口より ディベートに挑戦しました

国語の授業で、ディベートの学習に挑戦しています。子どもたちには、ディベートとは「互いの立場を明確にして話し合うこと」とであると伝えています。

まずはNHKの動画を見ながら、ディベートの進め方を確認しました。「立論」「反論」「最終弁論」など、普段聞き馴染みのない言葉に戸惑いながらも、それぞれの役割や重要性をノートにまとめていきました。

子どもたちのノートからは、以下のような気づきが見られました。

「想定される反論をあらかじめ考えておく必要がある」

「データをもとに話すと、説得力が増す」

「最終弁論で、どれだけ自分たちの主張を伝えきれるかが勝敗を分ける」

「何より、自信をもって話すことが大切！」

5年2組はもともと、「自分の意見をしっかり言える」という強みがあるクラスですが、かつて一度話し合いをしようとした際には、大きな声で持論を押し通そうとしたり、相手の言葉を遮ってしまったりと、課題が残る結果となりました。相手の意見を受け入れることは、子どもたちにとって、苦手な分野だったのです。

そこで今回のディベートでは、ルールを明確にし、「なぜ、まずは相手の話を聞く/知る必要があるのか」を、子どもたちが実感する必要があると考えました。相手に反論するためには、まず相手の主張を正しく理解し、相手のことも深く調べなければならぬ——。このことを、子どもたちは実践を通して、実感をもって理解していきました。

国語で方法について学んだ後、社会の授業で「養殖漁業と栽培漁業、どちらが良いか」というテーマで実際にディベートを行いました。ここで私が感心したのは、作戦タイムでの子どもたちの姿です。限られた時間の中、どうすれば自分たちの主張に説得力を持たせられるか、チームが一丸となって動いていました。「〇〇がさっき話せてなかったから、次は〇〇から話してもらおうぜ！」「さっきの〇〇への反論、私が調べたこのデータが使えると思う！」実際に前に出て話す子も、後ろでサポートする子も、それぞれが「自分にできること」を考えて全力を尽くす姿が印象的でした。

今回の挑戦を経て、子どもたちには以下のような力が大きく伸びたと感じています。

- ・ 比較する力
- ・ 筋道立てて話す力
- ・ 相手の話を集中して聞く力
- ・ 説得力を持たせるための表現力

話し合いは、「2つの中から1つを決める」「互いの意見を認め合う」「2つの異krんを掛け合わせた新しいアイデアを検討する」など、さまざまな場面・状況で使われます。また、対話・会話・議論・討論など、その目的も多様です。子どもたちは今回、「立場を明確にして討論する」方法を学びました。

5年2組は、「自分の意見をしっかり言える」ことが強みです。今後はそこに加えて、「相手を認め合うこと」「他者の意見を受け入れること」をさらに伸ばし、より深いコミュニケーションができる集団へと成長していけるよう、サポートしていきます。

<最近の5-2 思い出ギャラリー>



社会：養殖漁業と栽培漁業どちらが良いか



ディベートに向けた  
作戦会議



家庭科：手縫いで作品づくり

### 【3組通信】日本人担任 小山より

今学期から新たにクラスメートが加わりました。子どもたちは積極的に声をかけたり、学校生活について教えたりしながら、温かく迎え入れる姿を見せています。これから一緒に学び、活動していく中で、さらに素敵な学級になっていくことを期待しています。

学級活動では、4月にみんなで決めた学級目標「思いやり・優しさ・笑顔あふれるクラスに！！」について振り返りました。子どもたちは、自分たちの生活を見つめ直しながら、「相手の気持ちを考えて行動できているかな」「笑顔で過ごせているかな」と真剣に考える姿を見せていました。また、2Qに向けて新しい学級委員や教科のリーダーを決める前に、「よいリーダーとはどのような人か」について話し合いました。

話し合いの中では、「失敗を恐れず前向きに挑戦できる人」「『授業の準備はできている？』など、周りに声をかけられる人」「言葉遣いが丁寧で、悪口を言わない人」「勉強ができる・できないではなく、授業に真剣に取り組む人」など、多くの意見が出されました。子どもたちは、リーダーとは特別な人ではなく、自らよい行動を示し、周りの人を大切にできる人であることに気付くことができました。学級委員や教科リーダーだけでなく、一人一人がそれぞれの場面でリーダーシップを発揮しながら、学級目標である「思いやり・優しさ・笑顔あふれるクラス」の実現を目指していきます。



新しいクラスメート  
ようこそSOLANへ！



家庭科：裁縫の練習



学級レクの様子